



# Press Release

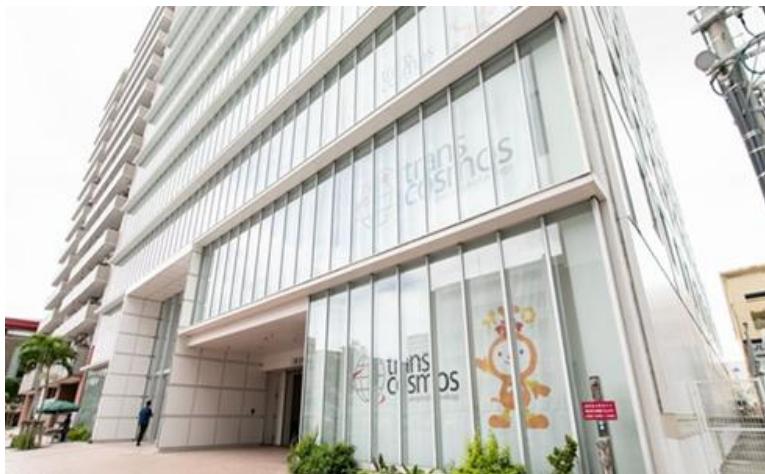
2026年2月3日

トランスクスモス株式会社

## トランスクスモス、CXスクエア那覇で新たな「GHG排出削減取り組み」を開始

### トランスクスモスグループの SBT達成と脱炭素社会の実現に貢献

2025年4月、トランスクスモスグループが2030年度を期限として掲げた温室効果ガス(GHG)排出削減目標が「SBT認定」を取得したことを受け、トランスクスモスのオペレーション拠点であるCXスクエア那覇において、GHG排出削減を推進するため、2026年2月1日よりエントランスと4~8階のエレベーターホールの空調停止時間を10分早め、空調運転時間を短縮する取り組みを開始しました。



トランスクスモスがSBT認定を取得したグループの温室効果ガス排出削減目標(Scope1及び2)は、2030年度までに、2023年度比で総量を42%削減することです。

トランスクスモスは環境保全のために植樹を行う活動「トランスクスモスの森」の一環として、沖縄県八重瀬町にて約4,000m<sup>2</sup>に合計160本のヒカンザクラ・ツツジの植樹を実施した活動などが認められ、2024年4月、「沖縄県CO<sub>2</sub>吸収量認証制度」に認証されました。

沖縄県では他にも、2011年2月に「沖縄県ワーク・ライフ・バランス企業」、2020年3月に「おきなわSDGsパートナー企業」として認定されており、献血活動や地域清掃活動の実施、ヤンバルクイナ保護活動やサンゴ保護基金への賛同、焼失した首里城再建支援のための寄付など、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。2024年11月には沖縄の3拠点が「うまんちゅ救急ステーション」に認定されました。

トランスクスモスグループでは、今後もSBT達成のための取り組みを推進し、脱炭素社会の実現に貢献していきます。

※トランスクスモスは、トランスクスモス株式会社の日本及びその他の国における登録商標または商標です

※その他、記載されている会社名、製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です

#### (トランスクスモス株式会社について)

トランスクスモスは1966年の創業以来、優れた「人」と最新の「技術力」を融合し、より価値の高いサービスを提供することで、お客様企業の競争力強化に努めて参りました。現在では、お客様企業のビジネスプロセスをコスト最適化と売上拡大の両面から支援するサービスを、アジアを中心に世界35の国と地域・186の拠点で、オペレーションナル・エクセレンスを追求し、提供しています。また、世界規模でのEC市場の拡大にあわせ、お客様企業の優良な商品・サービスを世界46の国と地域の消費者にお届けするグローバルECワンストップサービスを提供しています。トランスクスモスは事業環境の変化に対応し、デジタル技術の活用でお客様企業の変革を支援する「Global Digital Transformation Partner」を目指しています。(URL: <https://www.trans-cosmos.co.jp>)